PREX NOW

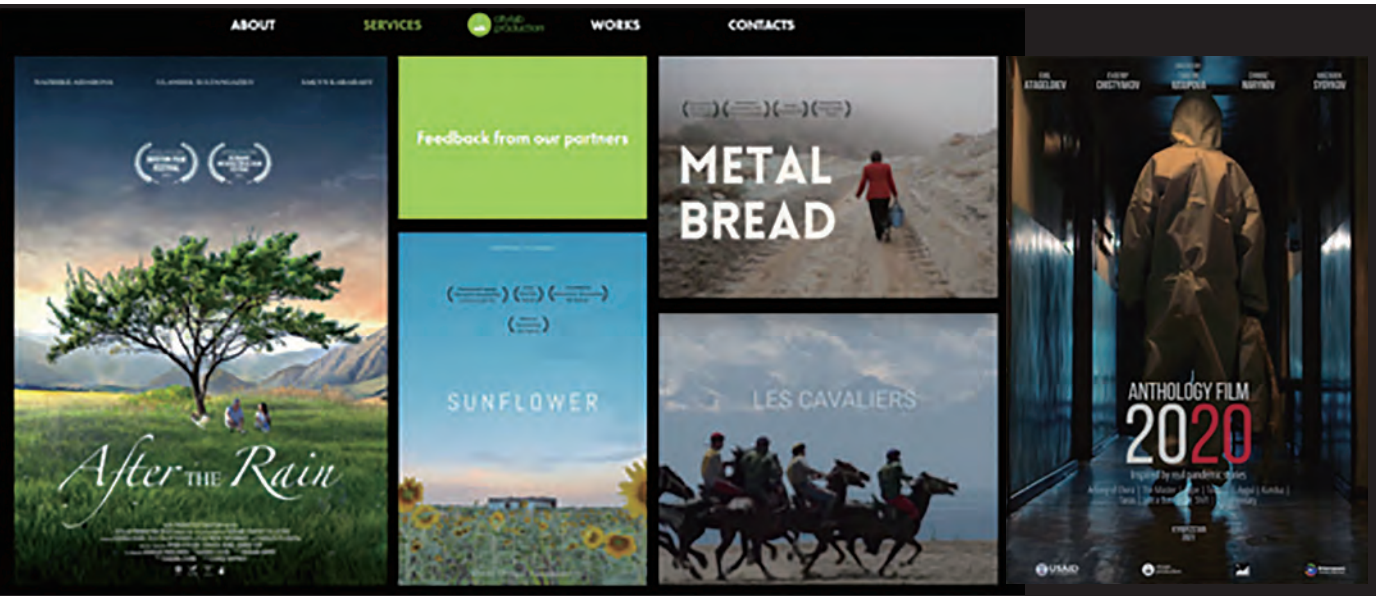
世界と関西をつなぐ　VOL.268　特集：PREXグローバルネットワークフォーラム

コロナ、戦争、原材料高騰・・・
困難が、我々をより強くする。

2022年3月、PREXは
「withコロナの時代を考える～グローバルネットワークメンバーとともに～」
をテーマに、オンラインフォーラムを開催しました。

この「PREXグローバルネットワーク フォーラム」では、ナイジェリア、モルディブ、キルギス、シリア、スリランカ、セルビアから6名が日本での研修を通じた学びと、各国の状況について発表しました。大変な環境のなか、参加した方もあり、その場にいた誰もが、「自分たちは、将来に向けて何ができるか」と考える機会となりました。一方で、予期せぬ変化に対する「素早い対応」と「チャレンジ」が、発表してくれた6名に共通する強みでした。日本からは、研修にご協力いただいた企業やコーディネーターの計17名に参加いただきました。今回の「PREX NOW」は、このフォーラムの一部を抜粋し、研修員の声を中心に特集します。
（フォーラムの詳細は、後日ウェブサイトに掲載します）

＊「PREXグローバルネットワーク」とは？
PREXは、設立以来、開発途上国等の発展につながる人材育成事業を実施してきました。2022年3月までに、延べ831コースの研修に156カ国・地域から、19,000名以上の行政官や企業幹部などが参加しています。このうち、訪日研修に参加した東南アジア、中央アジア・コーカサス地域、中南米、中東欧、アフリカなどの約2,200名が「PREXグローバルネットワーク」に登録。帰国後も日本との交流を続けています。



チンギスさんの映像制作会社のテレビシリーズ「2020」。
（新型コロナウィルスの大流行がキルギスの人々に与える影響を描いた10本の映画）

日本で学んだこと。『困難が、我々をより強くする。』

キルギスのPREXグローバルネットワークメンバー：
映像制作会社 Mr.Chingiz Narynov（チンギスさん）

キルギスのチンギスです。
従業員15名の映像制作会社を経営しています。
今回のコロナは、私たちのような中小企業にとっては大きなチャレンジが求められる時でした。
売上は40%減、手持ち資金は50%減となりましたが、政府からの支援はありませんでした。
コロナを乗り越えるために、まず、具体的に取り組んだのは、「仕事のデジタル化」です。
オフラインからオンラインへの仕事の転換と、作業プロセスの効率化を進めました。日本での研修で得た「カンバン方式」や「カイゼン活動」の知識が、大変役立ちました。
「効率化」の点でも、これまでの「常識」を破って対応しました。
たとえば、これまでは必須、と思っていた「オフィス」について、社員が働く環境があり、お互いに信頼しあっていれば、全社員が一つの場所に集まる「オフィス」はいらないのではないか、と見方が大きく変化しました。
就労時間についてもルールがありましたが、今は、それぞれの職員が決められた締め切りまでに、決められた仕事を終えることができればよい、という考え方になり、厳しい就業規則はなくしました。チームとして自分たちで考え、お互いを信用しつつ働くことが良い結果につながると思うようになったためです。
上司からの命令がなくても、人々は自分たちで働き、仕事は動いていく、と考えています。
そして、「クリエイティブ」な人というのは、ルールで縛らなくても、自由な環境の中で、素晴らしい仕事をしてくれると実感することができました。
今、私が感じていることは、「困難が、我々をより強くする」ということです。
日本での研修で学んだ「不利な条件をチャンスにすること」、「仕事のデジタル化で作業プロセスを効率化すること」を実際の仕事に反映することで、新規の顧客やプロジェクトを獲得することができました。

私は、日本の文化が大好きです。これからも両国の文化的・経済的つながりを強めるために少しでもお役に立てたら、と思っています。

ナイジェリアの伝統的な織物を製造する企業。

日本での学びを生かして、ラゴスに中小企業支援センターを開設。

ナイジェリア の PREXグローバルネットワークメンバー：
ラゴス商工会議所 Mr.Henry Ifeanyi Anwansedo（ヘンリーさん）

ナイジェリアのヘンリーです。ラゴス商工会議所で会員企業のサポートをしています。
2019年に中小企業振興関連のコースに参加し、日本の中小企業振興の興味深い事例を知りました。
東京都中小企業振興公社や神戸市の創業支援の取り組み、日本の中小企業振興策、日本政策金融公庫の役割などです。
帰国して、上司や関係者に、日本での学びについて報告し、「中小企業支援センター」を設立することを提案しました。
そして、最終的には、上層部との話し合いを経て、2020年、ラゴスに中小企業支援センターを開設することができました。
今はコロナの影響を受け、対面のサービスが提供できない等課題もありますが、なんとか支援を継続しています。
国内の中小企業と、彼らを支援するコンサルタントをつなげていけるよう、あきらめず取り組んでいきたいと思っています。

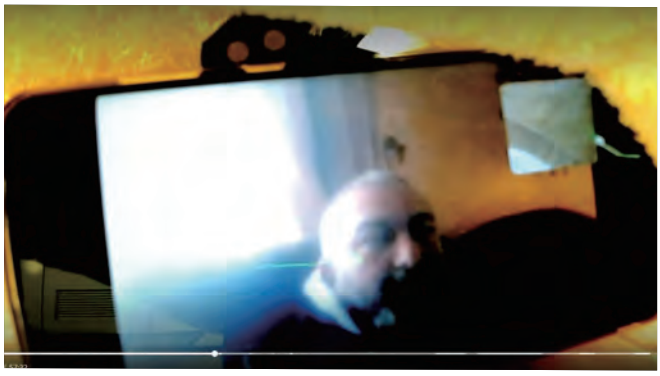
写真：ラゴス商工会議所中小企業サポートセンター開設時の様子。（2020年3月）

写真左：モルディブは、2022年が観光黄金年。様々なイベントが予定されている。
写真右：「モルディブからの生中継を体験しよう」- ソーシャルメディアキャンペーン中。

日本で体験した『おもてなし』の心を、モルディブに！

モルディブのPREXグローバルネットワークメンバー：
モルディブ空港 Ms.SAMAAH Fathimath（サマさん）

元観光省職員で、現在はモルディブ空港で勤務しています。皆さんご存じの通り、モルディブの主要産業の一つに観光があります。今回のコロナ禍で色々ありましたが、政府も各種対策をとり、観光業は順調に回復しています。2020年3月27日に国境を閉鎖せざるを得ませんでしたが、2020年7月15日に観光業が再開され、コロナウイルスに対する予防措置が強化されています。
私は2016年にJICAの観光振興研修に参加し、日本の「おもてなし」に感動しました。「おもてなし」は見返りを期待せず、より一層の無形のサービスを提供しようとする心です。
そして、「おもてなし」の心は私が日本で研修を受けている間、実際に体験したことです。日本の皆さまの親切な心は、「おもてなし」の精神の体現で、私にとって最上の体験でした。
この体験を生かし、私たちはホスピタリティーサービスにおいて、ゲスト（観光客）とスタッフの安全と幸せを大切にしています。



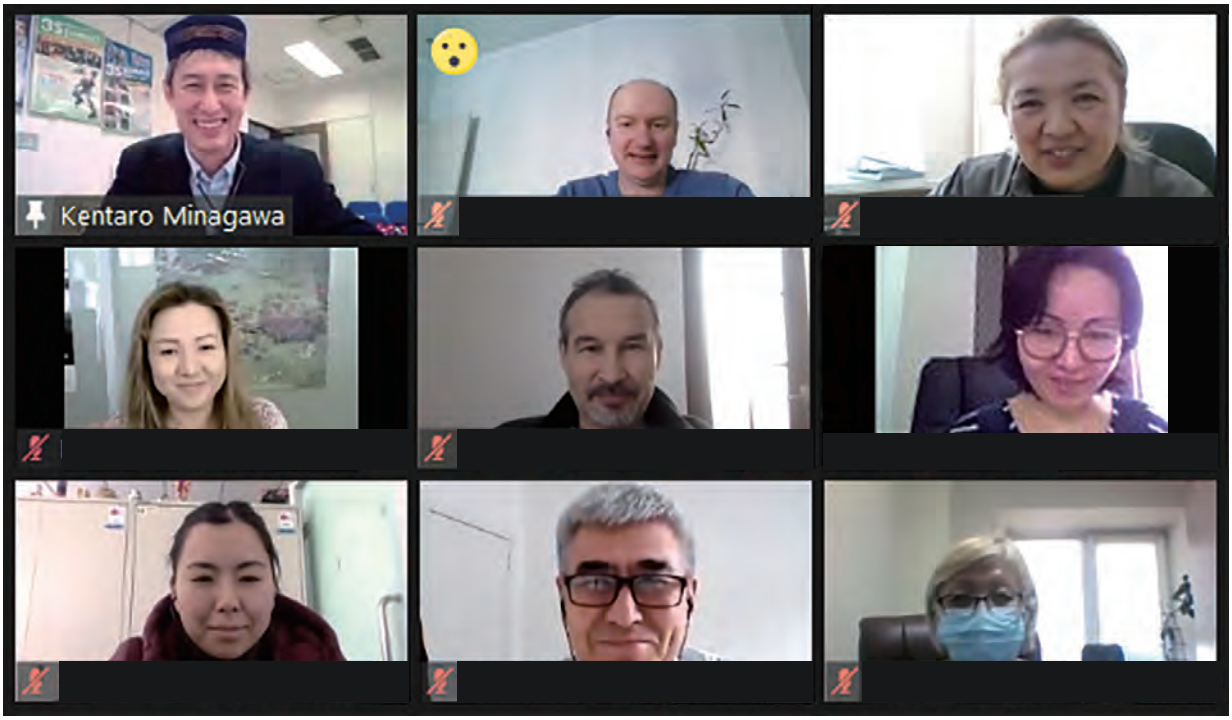
写真左：「2017年、何とか自分の工場に足を踏み入れたが、ほとんどが略奪され、残っていた機械も壊滅状態だった。深刻な被害や電力供給停止のため、私の工場の生産ラインで働いていた従業員は、仕事に戻ることができなかった（イマードさん）」
写真右：Zoomへの接続が困難で、テレビ電話で繋ぎ、それをZoomに映して参加。

あきらめずに、自分なりの活動を続けていきたい。

シリア の PREXグローバルネットワークメンバー：
Mr.Imad Haidar（イマードさん）

2010年度「シリア総合的経営管理」の研修員です。
日本での研修中や帰国後の日本の方々との交流を通じ、とても大切なことを学びました。内戦により国や自社工場が破壊された後は特に日本での経験が活かされました。
つまり人は人生に絶望することなく、自分の信念や信条に従い続けなければならず、没落や挫折の後にも自分で立ち上がり不可能と思われることにも挑戦し続けなければならないということです。研修中、日本や日本人が成し遂げたことをこの目で見て、その姿は私の理想となっています。帰国後12年が経ち自社工場も破壊されましたが、私は今も日本で学びこの目で見たことを伝えようとし続けています。おそらくそれが、再び私たちの人生の道に戻り、歩み続けていく道を照らす灯りになるのでしょう。
シリアにもコロナは広がり、そして、インフラの状況、原材料の高騰、諸々のことを考えると、近い将来に生産活動に戻ることは難しいでしょう。それでもシリアにも従業員のために環境を整えていこうとしている企業はあります。困難は沢山あります。しかし、それでもあきらめず、これからも自分なりの活動を続けていきたいと思います。皆様のフォローアップとご支援に心から感謝しています。

日本での研修でお世話になったシニア専門家とイマードさん
（撮影：2010年訪日研修時）

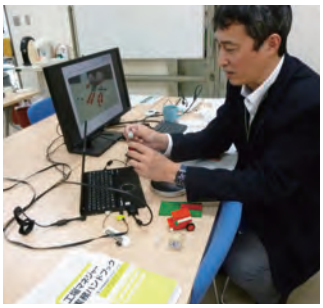


PREX初、グローバルネットワークセミナー！カザフスタンから21名の笑顔。

PREXは2020年4月の設立30周年を機に、「PREXグローバルネットワーク　セミナー実施支援プログラム」をスタートしました。（※「PREXグローバルネットワーク（以下PGN）」）
このプログラムは、同窓生であるPGNメンバーから、直面している課題など必要性の高いテーマでセミナーの企画提案をしていただくものです。PREXは提案されたものの中から実施するセミナーを選考し、講師への協力依頼などで支援します。より現地のニーズに沿ったセミナーを実施できることが特徴です。参加するのはPGNメンバーの同僚や関係者です。これによってPREXとPGNとの関係強化維持ができる点もPREXにとって大きな意味があります。
当初は講師と現地へ出張して実施することを想定していましたが、コロナ禍の現状を踏まえ当面はオンラインにて実施することとなりました。
第1回となった2021年度は5件の応募の中から、2016年度の研修に参加された、カザフスタン日本センター職員のエリカさんの提案を採択し、大阪工業大学の皆川健多郎教授のご協力のもと「カイゼンによる能力を発揮する現場づくり」というテーマでオンラインセミナーを2月に実施しました。
次回も、PGNメンバーからどんな内容の応募をいただけるのか、とても楽しみです。
（PREX　山内、山口、関野、髙山）

【カザフスタンからの声】

●「カイゼン」を正しく理解するために今回のような日本の講師による双方向のセミナーはとても重要だ。
●講師は理論と実践の両面で素晴らしく高い資質をもつ専門家であった。このことは、IT技術やカイゼンが、人生や仕事をより良くするために補完し合うものである、という先生の考え方からも伝わった。



レゴブロックを使い
カイゼンの講義をする
皆川教授。

PREX SDGs プラットフォーム スタート!

第一弾は、SDGsに取り組む企業3社を紹介しています。
写真左上から、Dari K株式会社、左下：株式会社浜田、右下：山陽製紙株式会社、です。

詳細はウェブサイトからご覧いただけます。→

日本では「三方良し」の文化が根付き、SDGsが制定される前から顧客・社員・地域などあらゆるステークホルダーとの関わりを大切にしている企業・団体が数多くあります。
私たちPREXの職員は、そうした皆さまの姿を、PREX事業にご協力いただく中で、目の当たりにしてきました。
その想いや取り組みを、より多くの方に紹介したいと考え、PREXのウェブサイト上に、「PREX　SDGsプラットフォーム」を立ち上げました。
SDGsをキーワードに協力先の皆さまが繋がっていくきっかけになればとても嬉しく思います。
（PREX SDGs推進チーム　狭間、阿部、児島）

Dai k株式会社

生産者・消費者・環境 皆が笑顔になれるチョコレートを届ける

PREX職員のここがイチオシ！

カカオを通して世界を変える“強い想い”

株式会社浜田

あらゆる環境ソリューションに関する答えを持つ企業

PREX職員のここがイチオシ！

皆で挑戦し続ける企業風土

山陽製紙株式会社

紙づくりで循環型社会に貢献する

PREX職員のここがイチオシ！

社長と専務のお人柄

NEWS &TOPICS

コロナの感染者数が減ったり増えたりしているところに、ウクライナとロシアの戦争・・・原料の高騰や物流不安などが世界中に広がっています。今回のオンラインフォーラム特集では、困難をさらに強くなる機会ととらえて頑張っているグローバルネットワークメンバーの発表に励まされました。皆さんぜひご一読を！PREXへのお問い合わせやご意見、「PREX NOW」への意見・感想をお待ちしています。E-mail: prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp

JICAコラボデスクより

JICAコラボデスクでは、JICA中小企業・SDGs支援事業の紹介や途上国でのビジネス検討の相談を承っています！
写真左から中山、前田（愛）、酒井。

キルギスの白いハチミツ

アジスさんからお土産に、「白い蜂蜜」を頂きました。
最近では有名になりましたが、自然のハーブたっぷり。
美味しくて健康にもよい蜂蜜です。
（PREX 瀬戸口）

研修員からメッセージが届きました！

2019年度のJICA投資促進のためのキャパシティディベロップメント研修に参加した研修員からPREXにメールが届き、お礼、そして現在の活動のことなど近況を教えてくれました。　来日されていたのはひと月間ですが、3年以上経ってもメールをもらえることがとても貴重だと思います。現在は、コロナの影響で遠隔で研修を実施することが多いですが、研修の形態が違っても、研修期間を超えて連絡を取り続けられる研修運営を目指していきたいと思っています。
今年度担当する最初の研修も始まります。どんな研修員に出会えるのかとても楽しみにしています。
（PREX 狭間）

キルギスの同窓生、アジスさんPREXに来局されました！

写真左から　アジスさん、息子さん、PREX職員

7月にPREXに来局された、アバキロフ・アジスさん。2009年に経済団体強化の研修に参加した、キルギス・ソフトウェア開発協会創設者です。アジスさんの夢は日本とキルギスとの懸け橋になることですが、夢の実現に向かって、日本でのビジネスの可能性を探るため、来日されました。
（PREX 瀬戸口）

2022年度研修事業がスタート。

2022年度は、24件程度の研修事業の実施を予定しています。
6月から8月に実施の研修は以下の通りです。

- ●JICA中小企業振興政策（A）遠隔研修
  行政官など7名が参加
- ●JICA先進国市場を対象にした輸出振興・マーケティング戦略（A）遠隔研修
  行政官など9名が参加
- ●PREXベトナム人リーダー育成研修
- ●ベトナム日本センター経営塾本邦研修
  経営者など30名が参加
- ●キルギス日本センター経営塾本邦研修
  経営者など13名が参加

PREX NOW第268号（2022年8月発行）
編集・発行：公益財団法人 太平洋人材交流センター
専務理事：岡本 譲
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
大阪国際交流センター2階　TEL.06-6779-2850
ウェブサイト：https://www.prex-hrd.or.jp
E-mail:prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp
企画制作：ユナイテッド・トゥモロー